

1年生 薬物防止乱用教室

11月8日（金）の6時間目に、学校薬剤師の田原先生をお迎えして薬物乱用防止教室を開催しました。田原先生から、正しい薬の使い方や、未成年飲酒・喫煙の危険性、違法薬物について詳しく説明していただきました。また、薬物を誘われた時の断り方をロールプレイングで行い、実践的に学んでいました。改めて、薬は正しく使うことや違法薬物は絶対に使用しないことを、生徒たちは決意した様子でした。



ロールプレイングの様子



○生徒の感想

薬物を誘われないようにしたり、誘われても断ったりして薬物とはかかわらないようにしたいと思った。

薬物を乱用したら自分に害があるだけでなく、家族が心配したり友達がなくなったりと周りの人にも影響がある事がわかった。

どれだけ仲が良い人でもだめなことは絶対にだめだし、誰のためにもならないからすすめられても断ろうと改めて思いました。

誘われたら、絶対に断ったりしていきたいと思いました。薬物のおそろしさを改めて学びました。顔も変になってしまうことを知りました。そのような薬物には手を出したくないと思いました。風邪の薬なども使いまわしをしないようにしていきたいと思いました。

2年生 救命教育

11月12日（火）の6時間目に、第2回学校保健委員会を兼ねて、救命教育講習会（心肺蘇生法・AEDについて）を開催しました。講師に、学校医の諸岡先生と小川消防署の皆様をお迎えして、救命の大切さや勇気をもって行動することの重要性を学びました。



○生徒の感想

AEDや胸骨圧迫によって多くの命が救われることがよく分かった。実践してみて、胸骨圧迫はかなりの力が必要なのだとおどろいた。

少しの勇気がどれだけ大事かよくわかった。ASUKA モデルを心に入れておきたい。

○保護者の方の感想

いざ当事者となった時に救命のお手伝いができる様に勇気を持つ、そして迷わず周りの人に声をかける、そしてAEDを使う。有意義な救命講習に参加でき感謝しています。ありがとうございました。

今回2年生と合同で救命講習に参加でき貴重なお話し、実技体験をさせて頂きました。普段から、いざという時に命を守る為の行動の大切さを改めて実感致しました。まずは自分の周りの人達と日頃からいざという時の行動について話したりAEDのある場所の確認等を意識して生活したいと思いました。

3年生 性教育講演会

11月28日（木）の6時間目に、茨城県看護協会の秋山智代先生をお迎えして性教育講演会を開催しました。秋山先生は、普段は助産師として勤務されており、「妊娠・出産は命がけであり、皆さんが元気に生きていることは奇跡である。」「皆さんのことを大切に思う人たちのおかげで今がある。」との言葉を、生徒たちは真剣な表情で聞いていました。



○生徒の感想

一人ひとりに生きてほしいと思う人がたくさんいることを改めて学べた。自分の命を大切にする大事さを再認識できた。

一つの命には、たくさんの人々が関わっていてとても大切なことだということがわかった。親に感謝をしようと思った。

自分が生まれてくるのにどれだけの奇跡と苦労があったかを知ることができました。自分の思い込みを人と比べることはいけないことだとわかっていてもどうしても比べてしまっていたので改めて考えることができました。

自分がすごく大切にされて生まれてきた事がわかりました。また自分が大切にされて生まれてきたなら他の人も大切にされて生まれてきたと思うから、友達など他の人を大切に生きていきたいです。